

「英語ノート」を活用した 外国語活動の指導の充実に関する研究

—学級担任単独による授業を中心とした授業事例の作成と活用をとおして—

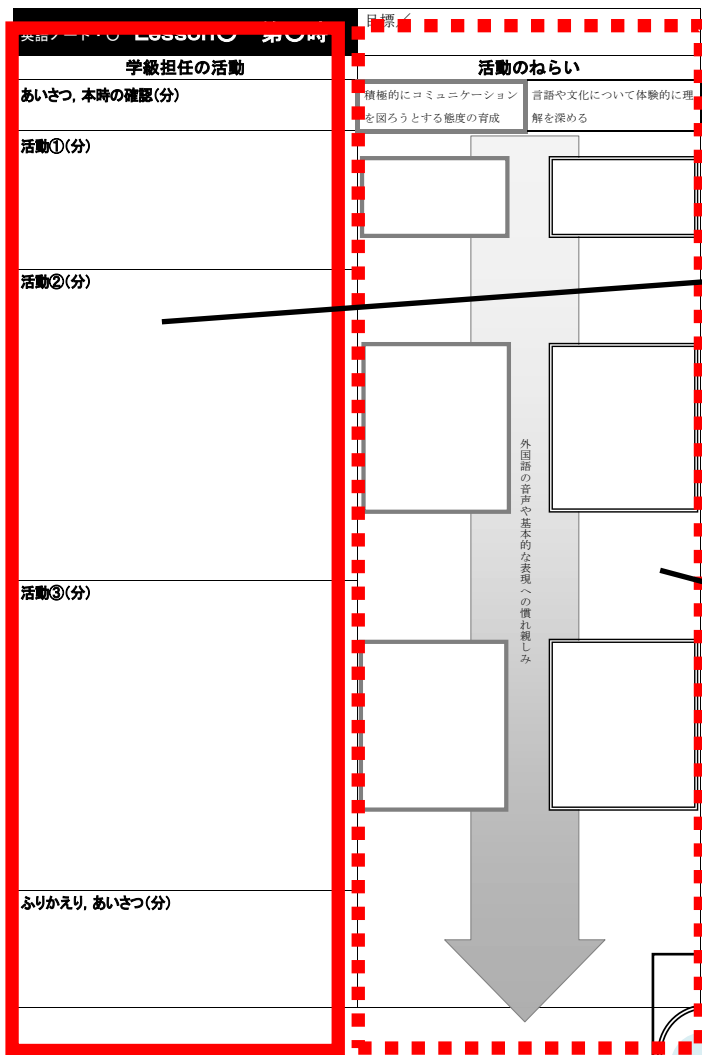
《補助資料目次》

○単位時間の授業事例の見方	1
○単元名：英語ノート・1 Lesson5 「いろいろな衣装を知ろう」	2
・単元計画	3
・第1時 (ALTとのティーム・ティーチングによる授業)	4
・第2時 (学級担任単独による授業)	6
・第3時 (学級担任単独による授業)	8
・第4時 (学級担任単独による授業)	10
○単元名：英語ノート・1 Lesson6 「外来語を知ろう」	12
・単元計画	13
・第1時 (学級担任単独による授業)	14
・第2時 (学級担任単独による授業)	16
・第3時 (学級担任単独による授業)	18
・第4時 (学級担任単独による授業)	20
○単元名：英語ノート・2 Lesson4 「できることを紹介しよう」	22
・単元計画	23
・第1時 (学級担任単独による授業)	24
・第2時 (学級担任単独による授業)	26
・第3時 (学級担任単独による授業)	28
・第4時 (学級担任単独による授業)	30
○単元名：英語ノート・2 Lesson6 「行ってみたい国を紹介しよう」	32
・単元計画	33
・第1時 (ALTとのティーム・ティーチングによる授業)	34
・第2時 (学級担任単独による授業)	36
・第3時 (学級担任単独による授業)	38
・第4時 (学級担任単独による授業)	40
○クラスルーム・イングリッシュ自己目標の設定と自己研修の記録	42

平成 22 年 2 月 18 日
岩手県立総合教育センター
長期研修生
所属校 花巻市立矢沢小学校
小 椋 孝 史

単位時間の授業案例の見方

←【左頁】



活動の進め方を示しています。英語で表記しているのは、必要最低限の英語表現と、毎時間の指示に用いるクラスルーム・イングリッシュです。

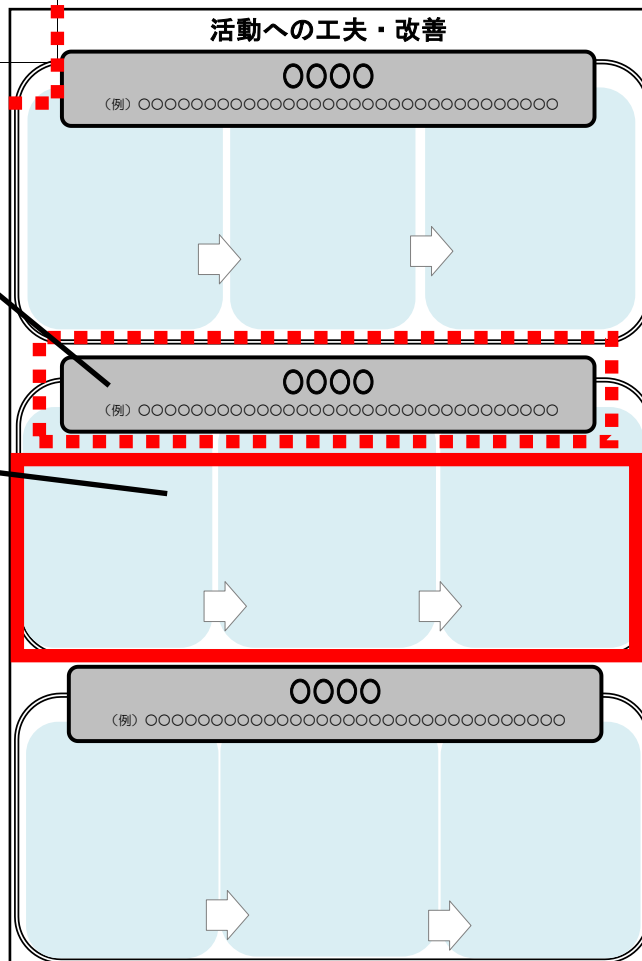
活動のねらいを示しています。一つ一つの活動がもつ「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成」と「言語や文化について体験的に理解を深める」の柱に沿ったねらいを示しています。

【右頁】 →

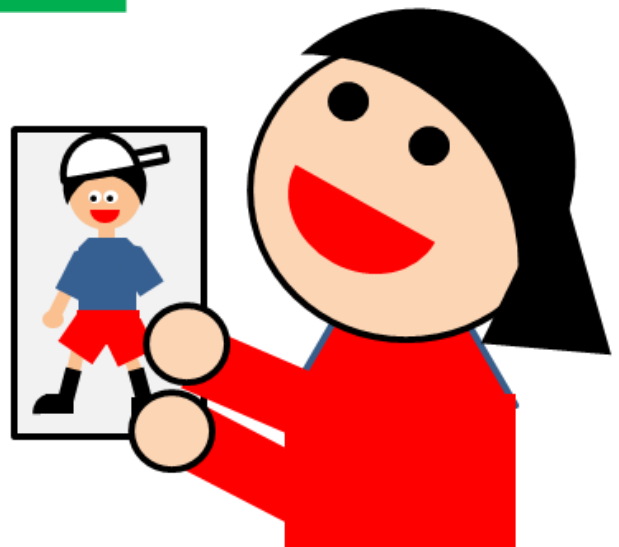
研究者が、活動のねらいと授業実践学級の実態をもとに図った工夫・改善の例を示しています。

研究者が、活動のねらいと授業実践学級の実態をもとに図った工夫・改善を、指導者の指示や発問、児童の言葉、活動の形態等で示しました。

右頁は、授業実践の対象児童の実態を基にした工夫・改善の例です。工夫・改善の仕方は、指導者や学級の状況に応じ多様に考えられますので、参考としてお使いください。



英語ノート・1 Lesson5 「いろいろな衣装を知ろう」
授業案例



○ 単元計画

1 単元名 英語ノート・1 Lesson5 「いろいろな衣装を知ろう」

2 単元の目標

- (1) 世界の衣装に興味を持つ。
- (2) 積極的に買い物の疑似体験をする。
- (3) 英語を使って好きな衣服を紹介する。

3 単元で扱う表現及び主な語彙

表現：I don't like blue.

語彙：red, blue, yellow, orange, pink, green, black, white,

T-shirt, sweater, pants, skirt, socks, shoes, shorts, cap, have, a, here

4 単元の概要

時	本時の目標	本時の活動	指導事項		活動の種類 ◎主, ○副		
			1 コミュニケーション	2 言語や文化	聞く	言い慣れる	発話する
1	世界には様々な衣服があることを知り, その言い方を理解する。	Let's Listen どのペアが話しているのかな	(2)	(2)	◎		
		Activity どのような服を着てみたいかな	(3)	(2)	◎	○	
		Let's Chant ♪Do you have a cap? ♪ (一回目)	(2)	(1)	◎	○	
2	自分の意見をはっきりと言うことの大切さに気付くとともに, 好きな衣服を買う場面で使われる表現を知る。	Let's Chant ♪Do you have a cap? ♪ (二回目)	(2)	(1)	○	◎	
		Activity どのような服を着てみたいかな	(1)	(2)	○	◎	
		Let's Listen お店にあるものは何かな	(2)	(2)	◎	○	
		Activity1 (準備) 買物をしよう	(3)	(2)		◎	○
3	好みをはっきり言ったり, 相手が気持ちよく買い物ができるような声かけをしたりして, 買い物を楽しむ。	Let's Chant ♪Do you have a cap? ♪ (三回目)	(2)	(1)	○	◎	
		Let's Listen お店にあるものは何かな	(1)	(2)	◎	○	
		Activity1 買物をしよう	(3)	(2)		○	◎
4	聞き手に買ったものがきちんと伝わるように発表する。	Let's Chant ♪Do you have a cap? ♪ (四回目)	(2)	(1)	○	◎	
		Let's Listen 買ったものとその色とを線で結ぼう	(2)	(2)	◎	○	
		Activity2 ショー・アンド・テル	(3)	(2)		○	◎
指導事項	<p>1 外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図ることができるよう, 次の事項について指導する。</p> <p>(1) 外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験する。</p> <p>(2) 積極的に外国語を聞いたり, 話したりすること。</p> <p>(3) 言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ること。</p> <p>2 日本と外国の言語や文化について, 体験的に理解を深めることができるよう, 次の事項について指導する。</p> <p>(1) 外国語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに, 日本語との違いを知り, 言葉の面白さや豊かさに気付くこと。</p> <p>(2) 日本と外国との生活, 習慣, 行事などの違いを知り, 多様なものの見方や考え方があることに気付くこと。</p> <p>(3) 異なる文化をもつ人々との交流などを体験し, 文化等に対する理解を深めること。</p>						

英語ノート・1 Lesson 5 第1時 ALTとのT・T	目標／世界には様々な衣服があることを知り、その言い方を理解する。
学級担任の活動 と ALTの活動	活動のねらい
あいさつ, 本時の確認(3)	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成 言語や文化について体験的に理解を深める
<p>衣服や色についての話を聞き質問に答える(5).</p> <p>A : ~sensei, your T-shirt is good. Do you like yellow?</p> <p>担 : (児童と相談をしながら, 返答を試みる.) Thank you./ Yes, I do. I like yellow. 等.</p> <p>担 : 先生も質問してみよう。 Your T-shirt is good. Do you like blue?</p> <p>A : Yes, I do. I like blue.</p> <p>担 : (児童の状況を見ながら ALT に児童への質問を促す。)</p> <p>A : (児童へ) Do you like (red)?</p> <p>担 : (児童の受け答えしようとした態度を賞賛する。)</p>	
<p>Let's Listen(10)</p> <p>A : (母国の伝統衣装について紹介した後) 日本の伝統衣装ってどんなのですか?</p> <p>担 : (児童とともに考え「着物です」という返答を引き出す。)とここで「着物」って英語で何と言うんだろう?</p> <p>A : (着物は英語でも <i>kimono</i> であることを伝える。)</p> <p>担 : Open your textbook to page 30 and 31. (「英語ノート」を進める。)</p>	<p>知っている言葉を手がかりにして聞こうとする態度を育てる。</p> <p>世界には気候や文化などに応じた様々な伝統衣装があることに気付かせる。</p> <p>外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ</p>
<p>Activity(10)</p> <p>担 : ALTの先生の服をコーディネートしよう。 (トランプの要領で服のカードを児童にひかせる)</p> <p>A : (黒板に貼られたひと揃えの服のカードに不満そうな表情を浮かべ,) I don't like (色) (服の交換を迫る。)</p> <p>担 : (児童と共にどのように対処するか考える)</p> <p>A : (児童が“I don't like (色)”を理解し, 服の色を交換したら) Thank you.</p>	<p>自分の気持ちをしっかりと言葉で伝えようとする態度を育てる。</p> <p>自分の考えをしっかりと伝えることの大切さに気付かせる。</p>
<p>Let's Chant(10)</p> <p>担 : チャンツを聞いてみましょう。</p> <p>担 : (児童の pants への反応を受け, ALT に質問する)</p> <p>A : (日本語と英語で意味の異なる語を紹介する)</p> <p>担 : じゃあ今日は pants に特に気をつけてチャンツしましょう。</p>	<p>共に声を揃え, 楽しくチャンツを言おうとする態度を育てる。</p> <p>同じ言葉でも日本語と英語で意味の異なるものがあることに気付かせる。(pants)</p>
<p>ふりかえり, あいさつ(7)</p> <p>担 : (本時の活動について, 児童が気付いた言葉や文化に関する点, 望ましいコミュニケーションを図ろうとする態度を具体的に評価する。)</p> <p>A : (担任と事前に打ち合わせておいた点について評価する)</p> <p>担 : ふりかえりカードに今日の感想を書いてください。</p>	<p>大きな矢印</p>

T・Tの利点を生かした活動の工夫・改善

Let's Listen


(例) ①ALTの存在が、児童が日本文化を発信する機会となるようにしました。
②担任とALTとのやり取りする姿から、言語がコミュニケーションを図るための道具であることを実感させるようにしました。

Activity

(例) ALTに場に応じた自然な“I don't like ~”の使い方を示してもらえるような工夫をしました。

Let's Chant

(例) ALTの体験をとおした日本と外国との考え方の違いを話してもらえるような工夫をしました。

英語ノート・1 Lesson5 第2時	目標／世界には様々な衣服があることを知り、その言い方を理解する。	
学級担任の活動	活動のねらい	
あいさつ, 本時の確認(3)	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成	言語や文化について体験的に理解を深める
Let's Chant(5). 1. Let's chant. 2. 言葉を替えてチャンツをしましょう。	共に声を揃え、楽しくチャンツを言おうとする態度を育てる。	言葉によるリズムの違いに気付かせる。
Activity(10) 3. I don't like (色). (何度も I don't like～を繰り返し児童に服の色の交換を迫る。「嫌い」だけ伝え、それでは困ることに気付かせる) 4. それでは、ペアでもやってみましょう。(配色されたシートを児童に配布する)	外国語を用いて互いの好き嫌いを伝え合うことを楽しもうとする態度を育てる。	自分の意見をはっきりと言うことの大切さに気付かせる。
Let's Listen(5) 5. Open your textbook to page 33. 6. (絵の状況理解を促した後、CDを一回聞かせ) どんなことがわかりましたか? 7. ではもう一度CDを聞きながら店にあるものに○をつけましょう。(CDを再度聞かせる) 8. 今度は気持ちよく買い物するための言葉に気をつけて聞きましょう。(CDを再度聞かせる) 9. (Yes, I do. Here you are.を確認した後)では、先生もやってみます。(無愛想に演じる。) 10. (態度も大事なことを確認し) それではペアで会話をしてみましょう。 11. (ペアでのやり取り後) どのような言葉や態度がうれしかったですか?	目的をもって聞くようとする態度を育てる。	言葉のもつ気持ちを伝える力に気付かせる。
Activity1準備(15) 12. 次の買い物の時に使う店のポスターです。店の接客のめあてを考えて書きましょう。めあてが決まったら、班のなかでお互いに見合っ、気持ちのいい接客ができるようにアドバスし合ひましょう。 13. (各班を回り) それでは先生がお客さんになるからやってみせてください。	相手の気持ちを考えた言葉遣いや行動について考えようとする態度を育てる。	接客練習をとおして、他者の気持ちを考えて用いる言葉の力の大きさに気付かせる。
ふりかえり, あいさつ(7) 14. (本時の活動について、児童が気付いた言葉や文化に関すること、望ましいコミュニケーションを図ろうとする態度を具体的に評価する。) 15. ふり返りカードに今日の感想を書いてください。	外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ 	

活動への工夫・改善

Activity

(例) 相手の選んだ服に I don't like～ではなく、配布されたカードの配色に I don't like～と言うようにして、I don't like～を使いやすくしました。

I don't like green.

I don't like blue.

I don't like black.

I don't like red.

緑が嫌いなのかな。
じゃあオレンジは？

I don't like orange.

「嫌い」だけでなく
好きな色も言って
ください！

それでは今度はみなさんの番です。今配ったカードの服の色を好みの色に替えてもらってください。「嫌い」ばかりでなく「好き」も伝えようね。

Let's Listen

(例) 一度聞いて答えを確認したら終わりではなく、次に「気持ちのよい言葉」という聞くポイントを示し、再度じっくり聞くことができるように工夫しました。

お店の人は、お客様の気持ちよい買い物のためにどんな言葉を使っているかな？

じゃあ先生も。

Yes, I do.
Here you are.
どう？

おかしいな。先生はみんなの言うとおり。
Yes, I do.
Here you are.
を使っているんだけど…

Yes, I do.

Here you are.

Yes, I do.と
Here you are.
だね

あまり買い物
したくない店
ですね…

そうか！
何て言うかだけでなく、
言い方も大切なんだね！

Activity1 (準備)

(例) 指導資料では買い物活動用のカードの準備の時間ですが、カードは指導者の方で準備することとし、そのぶん接客への意識付けを高める活動に変更しました。

〇〇ショップ

〇〇ショップ

えがおでせっきゃく

お店のポスターを作ろう。
ここには、接客のめあてを書いてね。

はい。

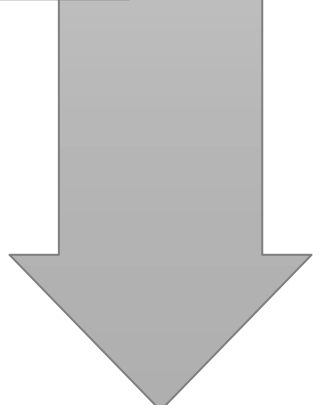
こんなポスターにしたよ。

すてきなお店ですね。ちょっと買い物してみようかな。

Do you have a red T-shirt?

えっと…

笑顔で接客だよ！がんばって！

英語ノート・1 Lesson5 第3時	目標 ／好みをはっきり言ったり、相手が気持ちよく買い物ができるような声かけをしたりして、買い物を楽しむ。	
学級担任の活動	活動のねらい	
あいさつ、本時の確認(3)	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成	言語や文化について体験的に理解を深める
Let's Chant(5) 1. 今日の買い物活動で欲しいものを伝えるのが心配な人はいますか？ 2. それでは、Aくんの欲しいものでチャンツしてみましょ。Let's chant! 3. 他に自分の買い物のときの言い方を確かめたい人はいませんか？	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 共に声を揃え、楽しくチャンツを言おうとする態度を育てる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 外国語には日本語と異なるリズムがあることに気付かせる。 </div> </div>	
Let's Listen(10) 4. お店やさんがお客様を気遣って使う言葉は確認したけど、お客さんにはお店やさんのお客を気遣う言葉は必要ないのかな？CDを聞いて、確認しましょう。 5. どんな言葉を話していましたか？ 6. (Hello, Thank you を確認した後)では、先生もやってみます。(無愛想に演じる。) 7. (態度も大事なことを確認し) それではペアで会話をしてみましょ。 8. (ペアでのやり取り後) どのような言葉や態度がうれしかったですか？	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 目的をもって聞くようとする態度を育てる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 言葉のもつ気持ちを伝える力に気付かせる。 </div> </div>	
Activity1(20) 9. 外国には気持ちよく買い物できたことを伝える「チップ」という文化があります。日本語には感謝の気持ちを伝える言葉がたくさんありますから、気持ちのいい接客をしたくれた班には、言葉のチップを送りましょ。 10. 前半に店員をする人、後半に店員をする人を決めましょ。では、前半に店員をする人はカードを並べて開店の準備をましょ。集めた衣服は発表用紙に貼り付けてください。では買い物を始めてください。 11. (時間が来たら) 交替ましょ。 12. (活動終了後) もらってうれしかった言葉のチップはどんな言葉でしたか？	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 互いに気持ちの良い言葉を使いながら生活しようとする態度を育てる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> 買い物の時に感謝の気持ちを伝え合う文化があることに気付かせる。 </div> </div>	
ふりかえり、あいさつ(7) 13. (本時の活動について、児童が気付いた言葉や文化に関すること、望ましいコミュニケーションを図ろうとする態度を具体的に評価する。) 14. ふりかえりカードに今日の感想を書いてください。	<div style="text-align: center;"> <p style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small;">外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ</p>  </div>	

活動への工夫・改善の例

Let's Chant

三回目のチャンツでも飽きさせないように、チャンツで用いる言葉に工夫しました。

今日の買い物活動で欲しいものを伝えるのが心配な人はいますか？

ちょっと不安です…。

青いTシャツと、緑の短パンが欲しいです。あと、黒い帽子も…

それじゃあ、Aくんの欲しいものでチャンツしてみませんか？

賛成！

何だか買い物もできそうな気がしてきました！

良かった！他にも自分の買物のときの言い方を確かめた人はいませんか？

じゃあ僕も！

Let's Listen

(例) 悪い言い方は指導者が担当し、児童は「気持ちのいい言い方」を見つけることに専念できるようにしました。

先週はお店屋さんのお客様を気遣った言葉や態度を考えたね。お客さんには、お店屋さんを気遣う言葉や態度って必要ないのかな？

必要だと思います。

Hello. Thank you.

あっ！
あった！

お客さんの欲しいものを伝える言葉以外にどんな言葉を話しているか聞きましょう。

(ぶっさらばうに)
Hello. Thank you.
こんな言い方でいい？

なんか違う…。

ペアでどんな言い方がいいか、やってみてください。気持ちのいい言い方が見つかったら教えてね。

Activity 1

(例) 気持ちのよい対応の成果としての「チップ」という文化の紹介と合わせ、感謝を表す言葉の豊富な日本語の良さにも気付くことができるように工夫しました。

外国には、気持ちよく買い物できたよ！ということ伝える「チップ」という文化があります。

おもしろそう！でも、日本ではあまりチップってないですね。

その代わりに、日本語には感謝の気持ちを伝える言葉がたくさんありますよ。

なるほど！「言葉のチップ」を送るんですね！

(買い物終了後)
どんな言葉のチップをもらいましたか？

また来るね！って言われたよ。

ありがとうって言われると、うれしいね

英語ノート・1 Lesson5 第4時	目標／聞き手に買ったものがきちんと伝わるように発表する。	
学級担任の活動	活動のねらい	
あいさつ, 本時の確認(3)	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成	言語や文化について体験的に理解を深める
Let's Chant(5) 1. 今日のスピーチはみなさんの前回買った服をこのように紹介します。 I have a red cap. I have a green T-shirt. I have black pants. 2. 紹介に使う言葉は、今までチャンツで言ってきた言葉です。それでは、その部分を意識しながら Let's Chant!	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="798 448 1085 627" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 共に声を揃え、楽しくチャンツを言おうとする態度を育てる。 </div> <div data-bbox="1149 448 1436 627" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 外国語には日本語と異なるリズムがあることに気付かせる。 </div> </div>	
Let's Listen(10) 3. Open your textbook to page 35 4. CDを聞いて、買ったものとその色とを線で結びましょう。 5. 買ったものの紹介にどんなことを話していたか確かめながらもう一度聞きましょう。 6. どんなことを話していましたか?どのように話していましたか。(話す順序, 内容など) 7. それでは先生もやってみます。(児童が態度面の課題に気付くように演技しながら) Hello. I have a (red T-shirt, white shorts, …) I don't like yellow. Thank you. 8. どうでしたか? (笑顔, 視線等の態度面について確認する。)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="798 918 1085 1120" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 話すときの目線や笑顔にも気を配りながら話そうとする態度を育てる。 </div> <div data-bbox="1149 918 1436 1120" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 同じ内容でも、話す態度で伝わり方は変わること気付かせる。 </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <small>外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ</small> </div>	
Activity2(20) 9. グループごとに発表をしてみましょう。 10. (学級の中から数名を紹介) ○○さんは～～なところがとても良かったです。みんなに見せてもらっていいですか? 11. みなさんもいいスピーチの人を見つけたら教えてください。(推薦があったら) みんなに見せてもらっていいですか? 12. (発表後には、発表者だけでなく、推薦者がよく友だちの発表を聞いていたことも賞賛する。)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="798 1388 1085 1590" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 楽しみながら、互いの買ったものを紹介し合おうとする態度を育てる。 </div> <div data-bbox="1149 1388 1436 1590" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 良いスピーチには、語り手・聞き手相互の協力が必要なことに気付かせる。 </div> </div>	
ふりかえり, あいさつ(7) 13. (本時の活動について、児童が気付いた言葉や文化に関する事、望ましいコミュニケーションを図ろうとする態度を具体的に評価する。) 14. ふり返しカードに今日の感想を書いてください。	<div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> </div>	

活動への工夫・改善

Let's Chant

(例) スピーチで扱う表現を、これまでのチャンツが生かせるように修正しました。

今日のスピーチはみんなの買った服をこんなふうで紹介するよ。
I have a red cap.
I have green pants.

ええ？難しそう…

実は今までのチャンツで言ってきた言い方ですよ。

♪ I have a blue cap.
I have a red cap.
I have a yellow cap.

ほんとだ！
じゃあ大丈夫だね！

♪ I have a blue cap !
I have a red cap !
I have a yellow cap !

Let's Listen

(例) 一度聞いて答えを確認したら終わりではなく、「次のスピーチで真似したいところ」という聞くポイントを示し、再度じっくり聞くような工夫をしました。

スピーチのとき、どのような話し方をするかに気をつけて聞きましょう。

最初はハローで
最後はサンキューだね！

じゃあ先生やってみるよ。
ハロー… ゴニョゴニョゴニョ…
サンキュー…

あれ～？

おかしいな。先生はみんなの言うとおり、ハローとサンキューを言ってるんだけど…

そうか！
言い方も大事だね！

Activity2

(例) みんなの前でのスピーチを全員に求めず数名の児童とした。よい発表をすることも大切だが良い発表だと気付くことも大切であることを意識できるように工夫した。

グループ内での発表終了後…

〇〇君がとてもすてきな笑顔でスピーチしてたんです。〇〇君、みんなの前でスピーチしてくれますか？

はい！
Hello!
I have a ...

先生は〇〇君しか見つけれなかったんだけど、みんなのグループにすてきな発表のいりませんでしたか？

はい！◆◆君は、とても聞きやすい声の発表ですよ！

え～っ！

Hello!
I have a ...

本当だ。◆◆君、聞きやすい声の大きさだね。◆◆君もすごいし、それに気づいた△△ちゃんも立派だったね！

ニコ！

英語ノート・1 Lesson6「外来語を知ろう」
授業案例



○ 単元計画

1 単元名 英語ノート・1 Lesson6 「外来語を知ろう」

2 単元の目標

- (1) 身近な外来語に興味を持つ。
- (2) 積極的に好きなものを尋ねたり，注文したりする。
- (3) 日本語と英語の発音の違いに気付く。

3 単元で扱う表現及び主な語彙

表現：What do you want? / Melon, please.

語彙：kiwi, peach, melon, cherry, grape, lemon 等

4 単元の概要

時	本時の目標	本時の活動	指導事項		活動の種類 ◎主, ○副		
			1 コミュニケーション	2 言語や文化	聞く	言い慣れる	発話する
1	外来語とそのもとなる語とは、音が違うことに気付き、英語の音に気をつけて発音しようとする。	Activity 身近な外来語をさがそう	(2)	(1)	◎		
		Let's Listen どの絵かさがそう	(2)	(1)	◎		
		Let's Play キー・ワード・ゲーム	(2)	(1)	◎	○	
2	尋ねられ、自分の欲しいものを頼む。	Let's Play2 おはじきゲーム	(2)	(1)	◎		
		Let's Listen1 どこからきた食べ物か考えよう	(2)	(2)	◎		
		Let's Listen2 健と麻衣とが注文したものは何か聞こう	(3)	(1)	◎		
		Let's Chant (一回目) ♪What do you want? ♪	(2)	(1)	○	◎	
3	欲しいものを尋ねたり、要求したりして、友だちのフルーツパフェを作る。	Let's Chant (二回目) ♪What do you want? ♪	(2)	(1)		◎	
		Activity1 オリジナル・フルーツ・パフェを紹介しよう。	(1)	(2)		◎	○
		Activity2 友だちにフルーツ・パフェを作ってもらおう	(1)	(2)	○		◎
4	作ったフルーツパフェを紹介する。	Let's Chant (三回目) ♪What do you want? ♪	(2)	(1)		◎	
		Activity3 だれのフルーツ・パフェかあてよう。	(2)	(2)	○		◎
指導事項	<p>1 外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図ることができるよう、次の事項について指導する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験する。 (2) 積極的に外国語を聞いたり、話したりすること。 (3) 言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ること。 <p>2 日本と外国の言語や文化について、体験的に理解を深めることができるよう、次の事項について指導する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 外国語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付くこと。 (2) 日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知り、多様なものの見方や考え方があることに気付くこと。 (3) 異なる文化をもつ人々との交流などを体験し、文化等に対する理解を深めること。 						

英語ノート・1 Lesson6 第1時	目標／外来語とそのもととなる語とでは、音が違うことに気付き、英語の音に気をつけて発音しようとする。	
学級担任の活動	活動のねらい	
あいさつ, 本時の確認(3)	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成	言語や文化について体験的に理解を深める
Activity(15) 1. (スーパーのチラシ等を配布し) グループでこの中にある外来語を探しましょう。 2. グループごとに、見つけた外来語を発表してください。 3. みなさんの見つけた外来語のもとになっている英語を聞いてみましょう。	意見を交流させながら、活動を進めようとする態度を育てる。	身の回りには外来語がたくさんあることに気付かせる。
Let's Listen(10) 4. Open your textbook to page 36 and 37. 5. これから聞く言葉は、どの絵のことが指さして示してください。 6. 国語では、外来語を「日本人が発音しやすく『変形』したものと学習しました。どのように変形しているかに気をつけて聞きましょう。 7. どのような変形の仕方をしていましたか？	「英語から外来語への変形の仕方を聞く」という目的を示し、積極的に聞こうとする態度を育てる。	外来語は、もととなる語からアクセントの位置や音に変形したことに気付かせる。
Let's Play(10) 8. Let's play key word game. 9. 先生の言葉を繰り返して言いましょう。キー・ワードの時は繰り返さず、消しゴムを取りましょう。 11. ルールを加えます。先生が外来語を言った時は、手を叩きましょう。	楽しく活動するために、しっかり聞こうとする態度を育てる。	外来語は、もととなる語との相違に気付かせる。
ふりかえり, あいさつ(7) 12. (本時の活動について、児童が気付いた言葉や文化に関すること、望ましいコミュニケーションを図ろうとする態度を具体的に評価する。) 13. ふり返しカードに今日の感想を書いてください。	外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ	

活動への工夫・改善の例

Activity

(例) 積極的に活動に取り組ませるために、児童が外来語を探したくなる工夫をしました。



チラシの中にある
外来語を全部見
つけましょう。

あれも、これも…
わあ～たくさんあるね!

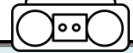


みんなで意見を出し合うと
たくさん見つかるね!

見つけた外来語を
紙に書きましょう。
たくさん見つけまし
たね!



みなさんが見つけた外来語
のものと英語を聞いてみま
しょう。



聞き比べるてみると
おもしろいですね



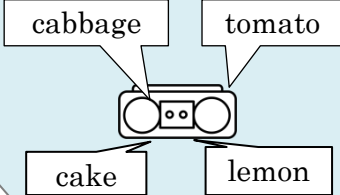
※「このチラシの中から…」のよ
うに外来語を探す範囲を絞ると、こ
のように音声を事前に用意できます。

Let's Listen

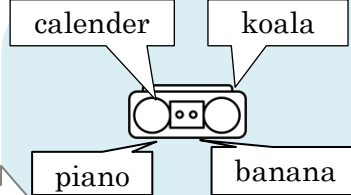
(例) 児童の聞こうとする態度をより積極的なものにするために、ただ聞かせるのではなく、聞きとるポイントを定める工夫をしました。

国語で、外来語を「日本人が発音しや
すく『変形』したものって学習しまし
た。変形のしかたに気をつけて聞きま
しょう。

「変形」かあ～。



音が変わりました。
キャベツがキャベジとか
レモンがレメンとか…



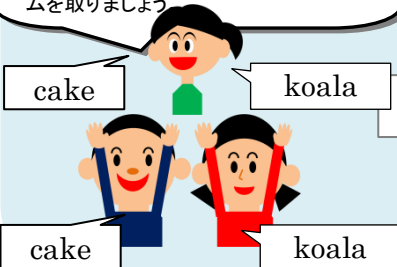
音はあまり変わってない
けど、アクセントの位置
が変わっていますね。



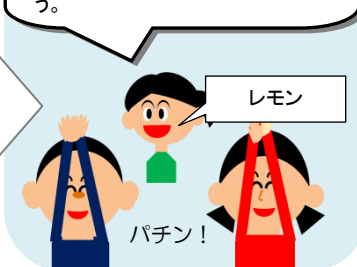
Let's Play

(例) 協力したり相談したりする態度を育てるために、ルールを工夫し、勝敗がつかないゲームにしました。

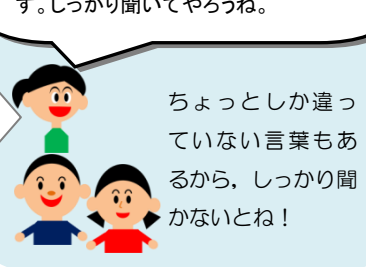
先生の言葉を繰り返して言いましょ
う。キー・ワードの時は繰り返さず、消し
ゴムを取りましょ




ルールを加えます。先生が外来
語を言った時は、手を叩きましょ
う。



しっかり聞いてできましたね～!
では今度のキー・ワードは外来語で
す。しっかり聞いてやろうね。



ちょっとしか違っ
ていない言葉もあ
るから、しっかり聞
かないとね!

英語ノート・1 Lesson6 第2時	目標／尋ねられ、自分の欲しいものを頼む。	
学級担任の活動	活動のねらい	
あいさつ, 本時の確認(3)	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成	言語や文化について体験的に理解を深める
Let's Play2(8) 1. Let's play <i>OHAJIKI</i> game. (おはじきを5個ずつ配布する) 2. Open your textbook to page 36 and 37.好きな絵を5つ選びおはじきを置きましょう。 3. CDが言った言葉の所におはじきがあったら取ります。全部無くなったら教えてください。では始めましょう。 4. (数回行ったのち)次はヒントを出します。先生は、外来語とアクセントの位置が違う言葉を言います。二人で相談しておはじきを置いてみましょう。	「アクセントの位置」のように聞く目的を持たせる。	外来語ともとなる英語との発音の違いに気付かせる。
Let's Listen1(7) 5. Open you textbook to page 38.どこの国旗がわかりますか？(日, 韓, 仏, 伊を確認する。) 6. どの国の食べ物だろう？(児童がどこの国の料理か知っているものはこの時点で確認する。) 7. この料理は英語で何と言うのだろう。聞いてみましょう。 8. どこの国の食べ物でしたか？ 9. 英語では何と言う名前の料理でしたか？	「キムチ」は英語で何て言う？のように聞く目的を持たせる。	外来語になっているのは英語だけではないことに気付かせる。
Let's Listen2(15) 10. ハンバーグとサラダとジュース！先生の頼み方はどうですか？ 11. (「お願いします」等の言葉が必要等の声を受け)英語にはそのような言葉はあるのかな？そこに気をつけて聞いてみよう。	気持ちを伝える言葉を添えようとする態度を育てる。	英語でも、欲しいものだけでなく気持ちを伝える言葉を添えていることに気付かせる。
Let's Chant(5) 12. レストランの注文のやり取りを使ったチャンツです。口ずさむ程度でいいので、真似してみましょう。	共に声を揃え、楽しくチャンツを言おうとする態度を育てる。	果物を表す外来語ともとの英語との発音の違いに気付かせる。
ふりかえり, あいさつ(7) 13. (本時の活動について、児童が気付いた言葉や文化に関すること、望ましいコミュニケーションを図ろうとする態度を具体的に評価する。) 14. ふり返りカードに今日の感想を書いてください。	外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ 	

活動への工夫・改善の例

Let's Play2

(例) 相談や協力をうまくできない子どもたちのために、ルールを工夫し、協力したり相談したりする機会を設ける工夫をしました。

Let's play OHAJIKI game!
Tomato, banana, ...

tomato banana

ヒントです。
先生は、外来語とアクセントの位置が違う言葉を言います。

ピアノはアクセントが違ってたよ!

piano

やっぱりそうだね!

Let's Listen1

(例) 寿司=日本、キムチ=韓国 等は既に知っている児童にも真剣に聞かせるために、どこの国から来た食べ物か?以外の聞く課題も持たせました。

sushi sukiyaki

着物みたいに、日本で生まれたものは、そのまま日本語が英語になっているんだね!

kimuchi

キムチは日本語でも英語でも、そのまま韓国の言葉が使われているよ!

cream puff

え?シュー・クリームじゃないの?

このお菓子はフランス語で *chou à la crème*

フランス語や韓国の言葉も外来語になっているのね!

Let's Listen2

(例) 言葉の気持ちを伝える動きに気付かせるために、何を注文したかだけでなく、“please”を強く意識できるように工夫しました。

料理を注文します。
ハンバーグとサラダとジュース!
先生の頼み方どう思う?

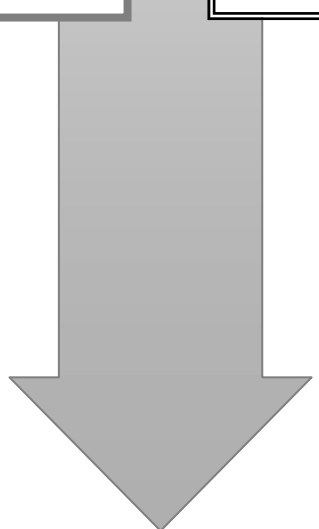
「ください」とか「お願いします」とかつけた方がいいと思います。

Soup, steak, and pudding, please.

英語もほしい物の名前だけ言うんじゃないんだね。日本語と同じだね。

みんなは物を頼む時に「お母さん、ごはん!」みたいな言い方していい?

あっ、そう言われてみれば…。
今日から「ください」も言おう。

英語ノート・1 Lesson6 第3時	目標／欲しいものを尋ねたり, 要求したりして, 友だちのフルーツ・パフェを作る。	
学級担任の活動	活動のねらい	
あいさつ, 本時の確認(3)	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成	言語や文化について体験的に理解を深める
Let's Chant. (10) 1. p. 69のカードを切り取りましょう。 2. これらの果物を英語でどう言うか聞いてみましょう。 3. Let's chant.今日は果物の名前でチャンツを試してみましょう。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 聞く目的を持たせ, 積極的に聞こうとする態度を育てる。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 果物を表す外来語とよとの英語との発音の違いに気付かせる。 </div>
Activity1(10) 4. Open your textbook to page 41. 5. 自分の好きな果物3つを隣の人に紹介しましょう。初めに先生がやってみます。 I like (apples),(cherries) and (bananas). 先生の選んだ果物どうですか? 6. (児童からの感想を受け) そのような言葉はうれしいですね。みなさんが紹介し合う時も, 相手がうれしくなるような言葉をお互いにかけてみましょう。 7. (ペアでの紹介が終わったら) 言われてうれしかった言葉を教えてください	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 相手の発表に対し感想を述べようとする態度を育てる。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 言葉の, 相手をうれしくさせる力に気付かせる。 </div>
Activity2(10) 8. 互いのフルーツ・パフェを作り合ひましょう。 9. 買い物するとき使った気持ちのいい言葉がありましたね。(児童は, Please./ Here you are. / Thank you.等を挙げる) 10. ありがとう, って言われたら何か言葉を返したいですね。英語でも同じです。このような言葉も加えてみましょう。You're welcome. 11. (児童は互いのパフェを作り合う) (A) What do you want? (B) (Apples),(bananas) and (kiwi), please. (A) Here you are. (B) Thank you. (A) You're welcome.	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 気持ちを伝える言葉を使おうとする態度を育てる。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 気持ちのよいやり取りのための言葉の大切さに気付かせる。 </div>
ふりかえり, あいさつ(7) 12. (本時の活動について, 児童が気付いた言葉や文化に関する事, 望ましいコミュニケーションを図ろうとする態度を具体的に評価する。) 13. ふり返りカードに今日の感想を書いてください。	外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ 	

活動への工夫・改善の例

Let's Chant

(例) 互いの考えを交流する楽しさを味わわせるために、相談し合いながら活動できる工夫をしました。

p.69 のカードを切り取ったら、隣同士で英語でなんて言うか予想してみましょう。

ぶどうって、グレープかな。何か違っていきそうだね！注意して聞かないとね！

grapes

やっぱり、ちょっと違ってらるんだね。

♪ Chant
Cherry, banana,
and grapes,
please!

♪ Cherry, banana,
and grapes, please!

Activity 1

(例) 言葉の大切さに気付かせるために、言われてうれしくなる言葉を意識できるような工夫をしました。

先生の好きな果物はぼくも全部大好きです。

I like grapes, kiwi and melon.

わあ〜、おいしそうな組み合わせだね！

どんな言葉を言われたら、うれしかったですか？

おいしそう！って言ってもらってうれしかった！

そうか〜。こんな言葉が伝えらるとうれしいんだね！

ありがとう！そのように言ってもらえると、先生とてもうれしいです！

Activity 2

(例) 言葉の大切さに気付かせるために、You're welcome の表現の扱いに工夫をしました。

ありがとう、って言われたら、なんて言う？

どういたしまして、かな？

Banana, cherry and kiwi, please.

Here you are.

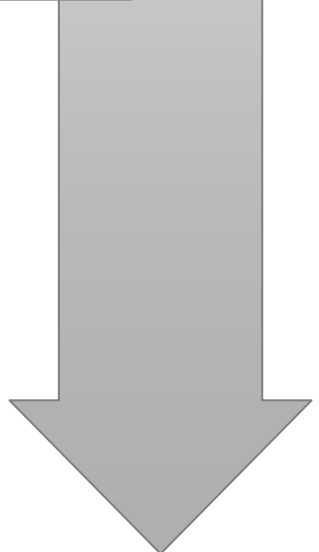
Thank you!

You're welcome!

みなさんの会話しているときの顔、とても優しい表情でしたよ。

伝え合うと気持ちのいい言葉は、日本語にも英語にもあるんだね！

英語にも、Thank you って言われたら返す You're welcome という言葉があるよ。

英語ノート・1 Lesson6 第4時	目標／作ったフルーツ・パフェを紹介する	
学級担任の活動	活動のねらい	
あいさつ, 本時の確認(3)	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成	言語や文化について体験的に理解を深める
Let's Chant. (5) 1. 今日のチャンツはみなさんの好きな果物でやろうと思います。 2. What do you like? 3. (児童の“I like ○○.”の返答を受け) では、その果物を使って Let's chant!	他者の選択した果物に関心をもたせる。	日本語とのリズムの違いに気付かせる。
Activity3 前半(10) 4. (様々な果物が入ったフルーツ・パフェの画像を数種類提示し) 喫茶店に5つのフルーツ・パフェがあります。先生の頼んだパフェはどれでしょう。それでは、注文をしてみます。みなさん、What do you want?と先生にたずねてください。 5. (児童に What do you want?と尋ねさせ、) (Banana), (lemon) and (apple), please. 先生の頼んだパフェは、どのパフェが分かりましたか?	「相手の選んだ果物」という聞く目的を持たせる。	選択する果物は人により異なることに気付かせる。
Activity3 後半(20) 6. それでは、班ごとにみなさんの作ったパフェを紹介していきましょう。班の人すべての紹介が終わったら、誰か一名のパフェを画面に出して、誰のパフェかを尋ねますから、よく聞きましょう。それでは、○班のみなさんからお願いします。 7. みんなの What do you want?という質問に答える形で紹介してください。 (聞いている児童) What do you want? (発表児童) (Banana), (lemon) and (apple), please. 8. (発表した児童の中の一人のフルーツ・パフェの画像を提示し), このパフェは誰のでしょう?	「相手の選んだ果物」という聞く目的を持たせる。	欲しい果物が人によって異なることの良さ、楽しさに気付かせる。
ふりかえり, あいさつ(7) 12. (本時の活動について, 児童が気付いた言葉や文化に関すること, 望ましいコミュニケーションを図ろうとする態度を具体的に評価する。) 13. ふり返りカードに今日の感想を書いてください。	外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ 	

活動への工夫・改善の例

Let's Chant

(例) これで三回目のなるチャンツでも飽きずに取り組ませるために、チャンツの歌詞に扱う素材を工夫しました。

今日のチャンツはみなさんの好きな果物でやろうと思います。
What do you want?

I like ... I like ... I like ...

♪ Chant
Apple, cherry and banana please!

♪ Apple, cherry and banana please!

Activity3 (前半)

(例) チャンツで慣れ親しんだ表現を発話にも有効に生かせるように、「指導資料」に示されたスピーチの話型に工夫をしました。

どれが先生の頼んだパフェでしょう?

What do you want?

Pineapple, banana and lemon, please.

これだね~

相手の欲しい果物の名前を注意深く聞こうとしていたね!

※電子黒板の機能を活用すると、このように何種類ものパフェを提示することができます。

Activity3 (後半)

(例) チャンツで慣れ親しんだ表現を発話にも有効に生かせるように、「指導資料」に示されたスピーチの話型に工夫をしました。

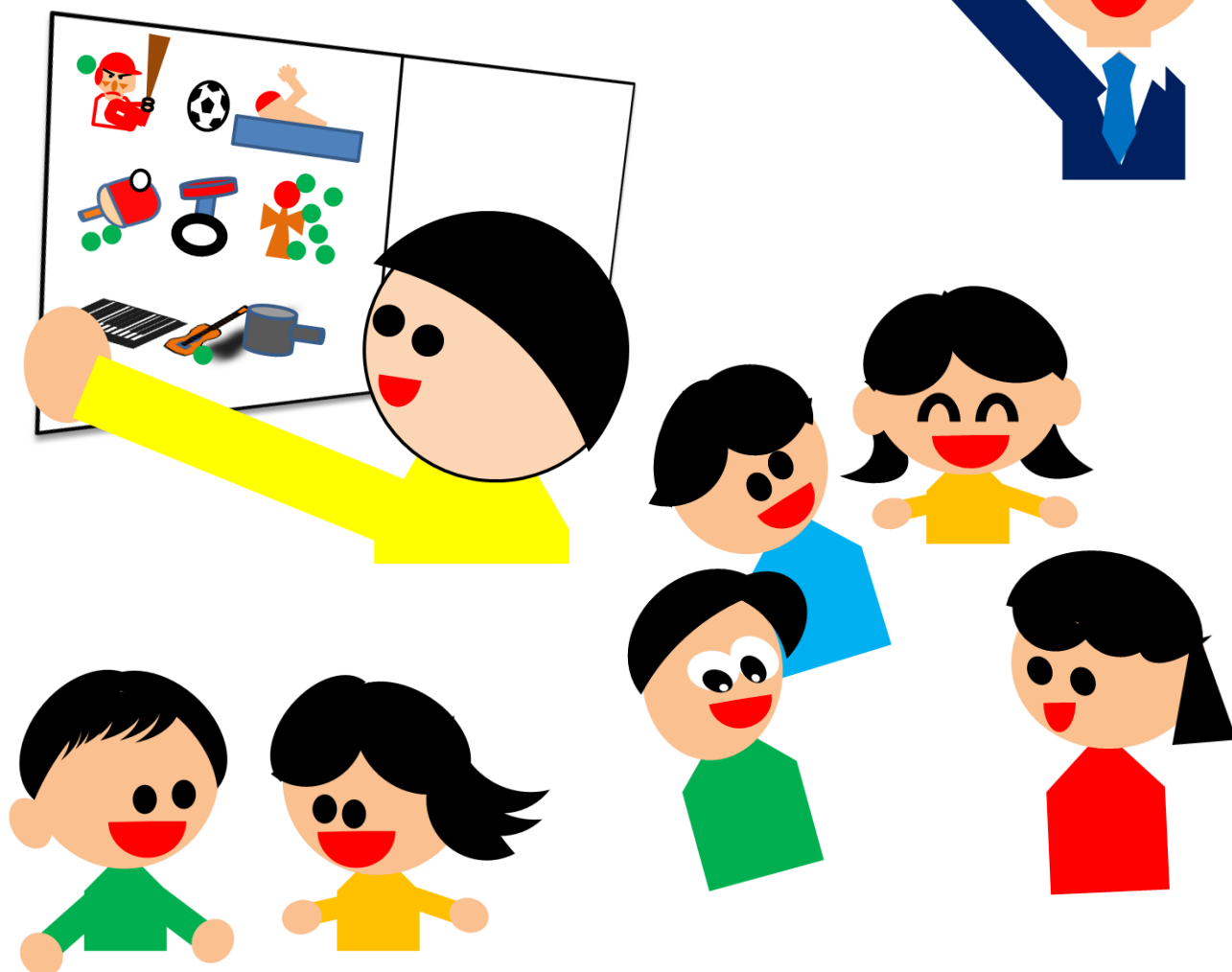
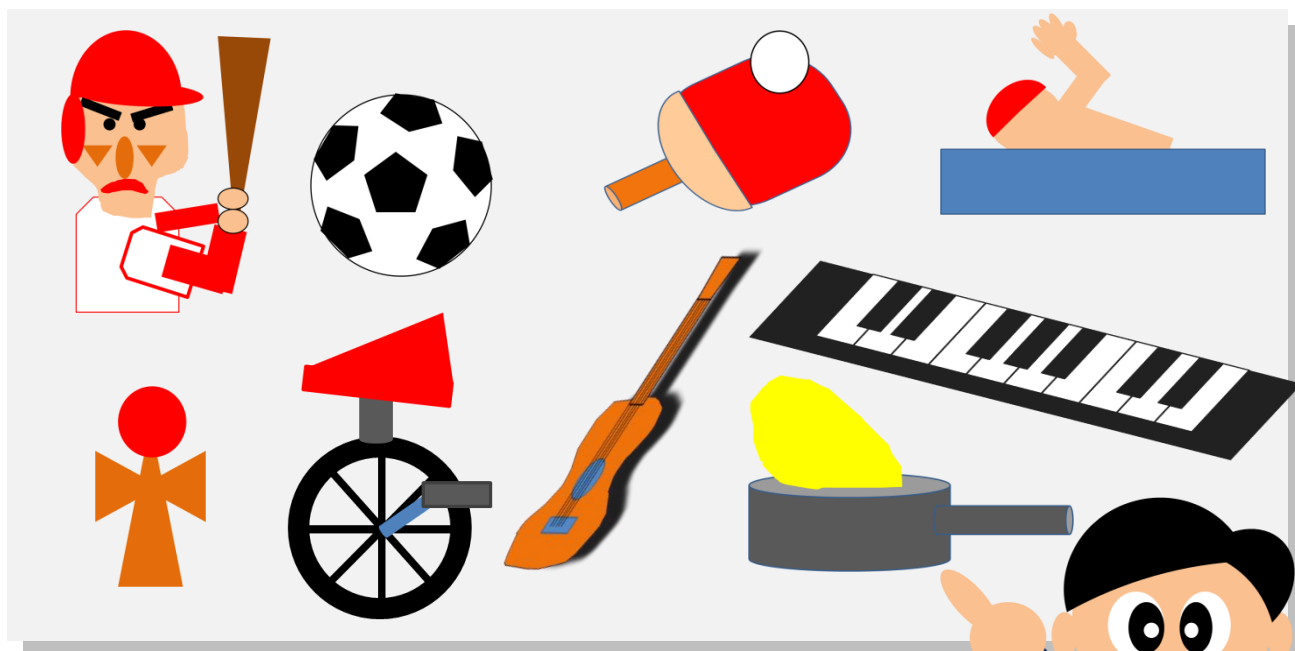
What do you want?

Pineapple, banana and lemon, please.

このパフェは誰のパフェ?

〇〇さんのパフェです。

英語ノート・2 Lesson4 「できることを紹介しよう」
授業案例



○ 単元計画

1 単元名 英語ノート2 Lesson4 「できることを紹介しよう」

2 単元の見目標

- (1) ショー・アンド・テルで発表することに興味を持つ。
- (2) 積極的に友だちに「できること」を尋ねたり、自分の「できること」や「できないこと」を答えたりする。
- (3) 「できる」「できない」と言う表現に慣れ親しむ。

3 単元で扱う表現及び主な語彙

表現：I can～. Can you ～? Yes, I can. / No, I can't.

語彙：can, play, make, sing, ride, swim

4 単元の概要

時	本時の目標	本時の活動	指導事項		活動の種類 ◎主, ○副		
			1 コミュニケーション	2 言語や文化	聞く	言い慣れる	発話する
1	相手の話を積極的に聞き、何ができ何ができないのかを理解しようとする。	Let's Listen 1 動物のできることできないことを聞こう	(1)	(2)	◎		
		Let's Listen 2 できることできないことを聞こう	(2)	(2)	◎		
		Let's Chant ♪I can swim♪ (一回目)	(2)	(1)	◎	○	
2	どのようなことができるか友だちに尋ねたり、答えたりする。	Let's Chant ♪I can swim♪ (二回目)	(2)	(1)	○	◎	
		Activity1① どの絵か選ぼう	(2)	(1)	◎		
		Activity1② ジェスチャーあて	(2)	(1)		◎	
		Activity1③ 友だちにインタビューをしよう	(1)	(2)		◎	○
3	友だちと互いにどのようなことができるかを尋ねたり、答えたりする。	Let's Chant ♪I can swim♪ (三回目)	(2)	(1)	○	◎	
		Activity2 インタビューしよう	(3)	(2)		○	◎
		Activity(準備) ショー・アンド・テルをしよう (準備)	(1)	(2)		◎	
4	自分ができることを発表したり、友だちの発表を理解したりする。	Let's Chant ♪I can swim♪ (四回目)	(2)	(1)	○	◎	
		Activity ショー・アンド・テルをしよう	(1)	(2)			◎
指導事項	<p>1 外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図ることができるよう、次の事項について指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験する。 (2) 積極的に外国語を聞いたり、話したりすること。 (3) 言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ること。 <p>2 日本と外国の言語や文化について、体験的に理解を深めることができるよう、次の事項について指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 外国語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付くこと。 (2) 日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知り、多様なものの見方や考え方があることに気付くこと。 (3) 異なる文化をもつ人々との交流などを体験し、文化等に対する理解を深めること。 						

英語ノート・2 Lesson4 第1時	目標／相手の話を積極的に聞き、何ができ何ができないのかを理解しようとする。	
学級担任の活動	活動のねらい	
あいさつ, 本時の確認(3)	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成	言語や文化について体験的に理解を深める
<p>Let's Listen1(10)</p> <p>1. 先生は〇〇ができると思う？ (〇を示し) "I can 〇〇"と思う人は挙手をしましょう。 (×を示し) "I can't 〇〇"と思う人は挙手をしましょう。</p> <p>2. それではやってみます。 (できたとき) I can 〇〇 (できないとき) I can't 〇〇</p> <p>3. 英語ノートを閉じたままCDを聞き、どんな動物の話か予想しましょう。</p> <p>4. 英語ノートを見てもう一度聞きましょう。 Open your textbook to page 24.</p> <p>5. (CDを聞かせ) ノートに番号を書きましょう。</p>	<p>英語を用いて、「できる・できない」を紹介し合おうとする態度を育てる。</p>	<p>できないということはいけないことや恥ずかしいことではないということに気付かせる。</p>
<p>Let's Listen2(20)</p> <p>6. 25ページを見てください。健とジュリアが、お互いのできる・できないを話しています。これから、CDを聞いてそれぞれができることを○で囲みましょう。</p> <p>7. それではCDを聞きましょう。</p> <p>8. (できる・できないを確認した後)二人のできることはほとんど一致していないのに楽しく会話が続けていたね。どうして楽しく会話できたのか、その理由を考えながらもう一度聞いてみましょう。</p>	<p>目的をもって聞こうとする態度を育てる。</p>	<p>会話を継続させる話し方の工夫に気付かせる。</p>
<p>Let's Chant(5)</p> <p>9. CDを聞きましょう。</p> <p>10. 今日は初めてなので、みなさんはペンギンのパートのチャンツを口真似できるようになりましょう。OK. Let's chant!</p>	<p>共に声を揃え、楽しくチャンツを言おうとする態度を育てる。</p>	<p>外来語とそのもとなっている英語との発音の違いに気付かせる。 (penguin 等)</p>
<p>ふりかえり, あいさつ(7)</p> <p>11. (本時の活動について、児童が気付いた言葉や文化に関する事、望ましいコミュニケーションを図ろうとする態度を具体的に評価する。)</p> <p>12. ふり返しカードに今日の感想を書いてください。</p>	<p>外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ</p>	

活動への工夫・改善

Let's Listen 1

(例)「できない」ということに劣等感を抱かせず、「できないことも一つの個性」と子どもたちに思ってもらえるような工夫をしました。

これから逆立ちします！先生できると思う？I can サカダチ だと思える人は？じゃあI can't サカダチだと思える人は？



先生ならできるよ！



やってみるね。
I can't サカダチ…



先生、逆立ちできなかったの？知らなかった～。



毎日一緒にいるけど先生が逆立ちできないこと知らなかったように、周囲の人の「できる・できない」は意外と知らない。では、CDで動物の「できるできない」を聞こう。

I can swim.



Oh, you can swim!
I can swim!

※CDと先生の会話形式にすると、どの子どもも理解しやすいです。

Let's Listen 2

(例) 一度聞いて答えを確認したら終わりではなく、「会話を楽しく続けることができた理由」という聞くポイントを示し、再度じっくり聞くようにしました。



健とジュリアがこれらのできる・できないを紹介しあいますよ。



卓球ってどう言うの？
そうだね。卓球って英語でどう言うかも気をつけて聞こうね。

サッカーは健ができてジュリアができないんだね。じゃあ次ね。



※細切れに聞かせると、理解しやすくなります。



ジュ: I can play table tennis.
Can you play table tennis?
健: No, I can't.
I can't play table tennis.

これ卓球じゃない？ テーブルテニスって聞かえるよ！

健とジュリアのできる・できないは逆だね。でも楽しそうに会話しているね。その理由を考えながらもう一度聞こう。



No, I can't.って答えたあと、その代わりに自分ができていることを相手に教えているね！



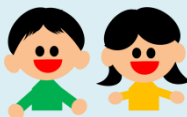
Let's Chant

(例) 初めてのチャンツのため児童の英語面での負担軽減を考え、What can you do? という難しいフレーズのある鳥パートは教師で担当することにしました。



初めてのチャンツだからみんなはペンギンの方を言ってください。先生は鳥役をやります。

それならできそうかな？



Can you sing?

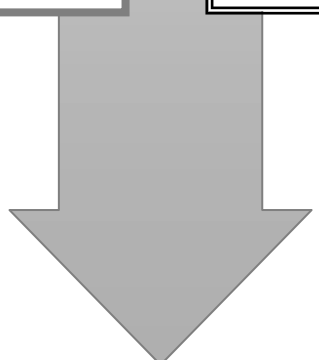


♪No, I can't!



What can you do?

♪I can swim!

英語ノート・2 Lesson4 第2時	目標/どのようなことができるか友だちに尋ねたり、答えたりする。	
学級担任の活動	活動のねらい	
あいさつ, 本時の確認(3)	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成	言語や文化について体験的に理解を深める
Let's Chant(5) 1. 先生は鳥パートをやります。みなさんはペンギンパートをやみましょう。Let's chant! 2. 先生と一緒に鳥パートをやってくれる人はいませんか? 3. それでは、もう一度 Let's chant!	共に声を揃え、楽しくチャンツを言おうとする態度を育てる。	外来語とそのもとになっている英語との発音の違いに気付かせる。(penguin 等)
Activity1①(10) 4. Open your textbook to page 26. 5. CDをよく聞いて、どの絵のことを言っているか指さして示してください。 6. (未習の語があることに児童が気付くので) それでは、けん玉と一輪車とオムレツは除いてやってみましょう。 7. 次はCDが、けん玉と一輪車とオムレツのどれを言っているかをよく聞いて、指さして示しましょう。	既知の言葉を手がかりとして、未習表現を聞き取ろうとする態度を育てる。	言葉の組み合わせで出来ている表現に気付かせる。(table+tennis 等)
Activity1②(5) 8. ジェスチャーゲームをやります。先生のジェスチャーは、何かを言いましょう。 9. 誰か先生とジェスチャーと一緒にやりませんか?	相手に目と心に向け、話を聞こうとする態度を育てる。	動作化により言葉のイメージをさらに深くもたせる。
Activity1③(15) 10. 今日学習した9つのことを〇〇先生の「できる・できない」をインタビューしてきたビデオがあります。みんなで〇〇先生の「できる・できない」を予想してから、声を合わせて質問してみましょう。 11. 今度はお隣同士で質問し合います。では初めに相手の「できる・できない」を予想してみましょう。 12. それではお互いに質問し合い、結果を英語ノートに書きましょう。	英語を用いて、「できる・できない」を紹介し合おうとする態度を育てる。	「できる・できない」は人によって違うことに気付かせる。
ふりかえり, あいさつ(7) 13. (本時の活動について、児童が気付いた言葉や文化に関すること、望ましいコミュニケーションを図ろうとする態度を具体的に評価する。) 14. ふり返しカードに今日の感想を書いてください。	外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ 	

活動への工夫・改善

Let's Chant

(例) 比較的難しい鳥パートは、全員でのチャンツをあせらず、希望者から徐々に鳥パートに移行するように工夫しました。

Can you sing?



♪ No, I can't!

先生と一緒に鳥パートをやってくれる人いませんか？



私たちはもう少しペンギンをやります。

♪ What can you do?



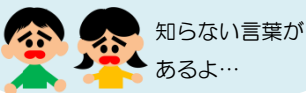
♪ I can swim!

Activity 1 ①

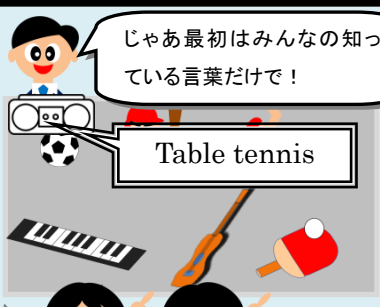
(例) 初めは児童の知っている表現・語句のみでアクティビティを行い、続いて、未習の表現で行います。じっくり聞かせ気付きを促すための工夫です。



CDがどの絵のことを話したか聞き取って指さしてね。



知らない言葉があるよ…



じゃあ最初はみんなの知っている言葉だけで！

Table tennis



わかりました！



I can make an omelet.

オムレツって聞こえなかった？

聞こえたよね！



次はみんなが知らない3つの言葉でやるよ。

Activity 1 ③

(例) 「指導資料」ではALTに質問する場面ですが、ALT不在でもあるので児童の関心の高い校内の教師へインタビューしたビデオコンテンツを使用しました。



スポーツ得意そうだね！



〇〇先生にできる・できないのインタビューを撮影してきたよ。みんなで〇〇先生ができるかどうか予想して質問をしてみよう。

Can you play baseball?



(ビデオ)
Yes, I can.
I can play baseball.



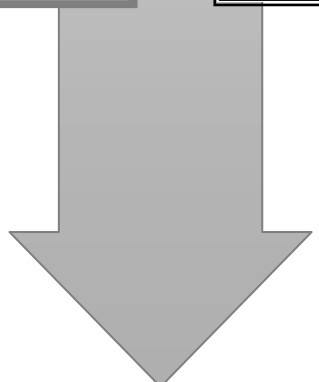
そうなんだ～



今度はお隣同士で質問し合うよ。となりのひとのできる・できないを予想してみよう。

隣の席だけど料理できるかどうかって聞いたことなかったな～



英語ノート・2 Lesson4 第3時	目標／友だちと互いにどのようなことができるかを尋ねたり、答えたりする。	
学級担任の活動	活動のねらい	
あいさつ, 本時の確認(3)	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成	言語や文化について体験的に理解を深める
Let's Chant(5) 1. 今日も先生と一緒に鳥パートをしてくれる人はいませんか？ 2. Let's chant!	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>共に声を揃え、楽しくチャンツを言おうとする態度を育てる。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>外来語とそのもとなっている英語との発音の違いに気付かせる。 (penguin 等)</p> </div>
できること・できないことを尋ねる(5) 3. (画面に著名な人物を示し) これから、先生をこの人物だと思って、〇〇ができるかを質問してみましょう。(2, 3名の著名な人物を題材として、同様に繰り返す)		
Activity2(15) 4. 今日は、教室を歩き回りたくさんの友だちと「できる・できない」を伝え合います。相手のできることを教えてもらったなら、「すごいね」「同じだね!」「知らなかった!」などの感想とともに、その感想を表す色のシールを相手に渡してください。シールをもらった人は、「英語ノート」にももらったシールを貼っていきましょう。それではたくさんの友だちとできることを伝え合いきましょう。Let's start!	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>相手の返答に対するコメントを伝え合おうとする態度を育てる。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>自分と友だちとの違いから、友だちや自分の良さに気付かせる。</p> </div>
Activity準備(10) 5. もらった感想シールを貼った「英語ノート」を見てみましょう。どんなことに気が付きましたか？(自分が友だちからどのように思われているかを考えさせる。) 6. 次回は自分の「できる・できない」をショー・アンド・テルで紹介します。班で相談し合って、自分のできることからどれを紹介するかを決めましょう。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>英語を用いて、「できる・できない」を紹介し合おうとする態度を育てる。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>自分と友だちとの違いから、友だちや自分の良さに気付かせる。</p> </div>
ふりかえり, あいさつ(7) 7. (本時の活動について、児童が気付いた言葉や文化に関すること、望ましいコミュニケーションを図ろうとする態度を具体的に評価する。) 8. ふり返りカードに今日の感想を書いてください。	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ</p>  </div>	

できること・できないことを尋ねる

(例)「指導資料」ではALTに質問する場面ですが、ALT不在でもあるので児童の関心の著名人の意外なエピソードを素材にしてみました。



メジャーリーガーの松井選手は習字ができると思う？先生が松井選手になって答えるから質問してみてください。

習字ってどう言うの？

今日は、そのまま日本語で「習字」と言うことにしましょう。

Can you 習字？



Yes, I can.
I can 習字 very well!



松井選手は書道の有段者だそうですよ！



すご〜い。

Activity2

(例)「他者から見た自分」を視覚化できるように、感想シールを取り入れました。相手の返答へコメントをする、という態度の育成もねらっています。

すごいね！

同じだね！

知らなかった！



これからたくさんの友だちと「できる・できない」を伝え合います。相手の答えへの感想シールを渡すようにしましょう。

I can play table tennis.

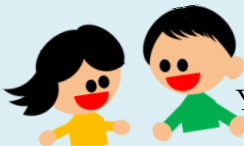


僕もできるよ。今度一緒にやろうよ！

たくさんの相手と伝え合おうね！



Can you play the guitar?



Yes, I can.

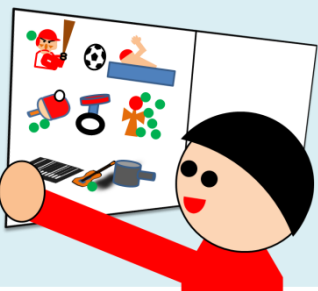
本当？すごいね〜！

Activity(準備)

(例)友だちからもらった感想をもとにして、自分の個性を認識できる工夫をしました。次のスピーチで何を紹介したらよいかの判断材料になります。



もらった感想シールを貼った「英語ノート」を見てみましょう。



けん玉できてすごいね！ってたくさんの人に言われたよ。

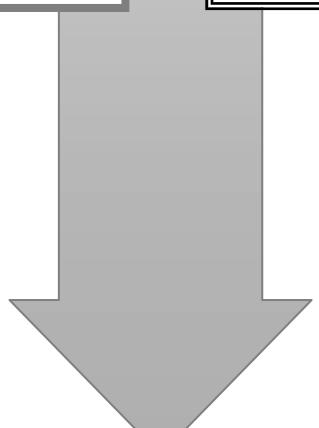
次回は自分の「できる・できない」をショー・アンド・テルで紹介します。班で相談合って、自分のできることからどれを紹介するか決めましょう。



どれがいいかな〜



ギターがいいと思うよ。すごいもん！

英語ノート・2 Lesson4 第4時	目標／自分ができることを発表したり，友だちの発表を理解したりする。	
学級担任の活動	活動のねらい	
あいさつ，本時の確認(3)	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成	言語や文化について体験的に理解を深める
Let's Chant(5) 1. 今日がこのチャンツをやる最後の日です。みんなで鳥パートに挑戦してみましょう。先生はペンギンパートを担当します。 Let's chant!	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>共に声を揃え，楽しくチャンツを言おうとする態度を育てる。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>外来語とそのもとなっている英語との発音の違いに気付かせる。 (penguin 等)</p> </div>
Who am I?クイズ(10) 2. Let's play "Who am I?" quiz! 3. では問題です。よく聞きましょう。 I can ○○. I can ××. I can't △△. Thank you. Who am I? (これまで Lesson4 に登場した動物や，扱った著名人を題材にしたクイズを楽しみながら，この後のスピーチに用いる話形を何度も聞かせる。)	外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ	
Activity(20) 4. それでは班長の指示に従い，班ごとにスピーチをし合しましょう。 5. 班の代表者を一名決めましょう。 6. 班の代表者のスピーチがより良いものとなるように班のなかでアドバイスをし合しましょう。 7. それでは班の代表の人にスピーチをしてもらいます。同じ班のみなさんが，代表者のスピーチのおすすめポイントを紹介してから代表者のスピーチに入りましょう。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>英語を用いて，「できる・できない」を紹介し合おうとする態度を育てる。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>友だちの発表の見聞きと，班の代表児童の発表をよりよくするための活動をとおして，発表の仕方を工夫する大切さに気付かせる。</p> </div>
ふりかえり，あいさつ(7) 8. (本時の活動について，児童が気付いた言葉や文化に関すること，望ましいコミュニケーションを図ろうとする態度を具体的に評価する。) 9. ふり返りカードに今日の感想を書いてください。		

活動への工夫・改善

Let's Chant

(例) 難しい表現の多い鳥パートでしたが、これまでたっぷり聞かせてきたので、最後は全員でチャンツができました。英語面の負荷の軽減を図るための工夫です。



今日が最後だから、みんなで鳥パートに挑戦しましょう。先生はペンギンパートをやりますね。



はい。

♪ What can you do?



♪ I can swim!

Activity

(例) 事前に班長会をもち、班長の進め方などに対する不安の解消を図りました。授業では、代表児童の発表をみんなで更に良いものにする時間を位置付け、代表以外の児童も「よい発表」を意識するような工夫をしました。

授業前



今日の班ごとの発表会の司会を班長さんをお願いするんだけど、不安なことはないですか？

私の班の〇〇ちゃん、いつも恥ずかしくて発表しづらいのよね…

班の中で発表の順番する順番を最後にしたら？

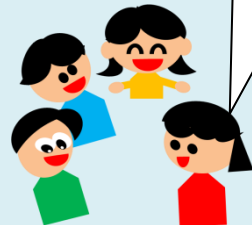


みんなの発表を聞いてからだと、気楽だよ。



班長の指示に従い、班ごとに発表をし合ひましょう。

I can ride a unicycle.



知らなかった～！
すげー！



班の代表者を決めて、もっといい発表になるようにアドバイスをし合ひましょう。

笑顔で話しているから
すごいよ！



ぼく、英語ノート持ってあげるよ。その方が話しやすいでしょ？

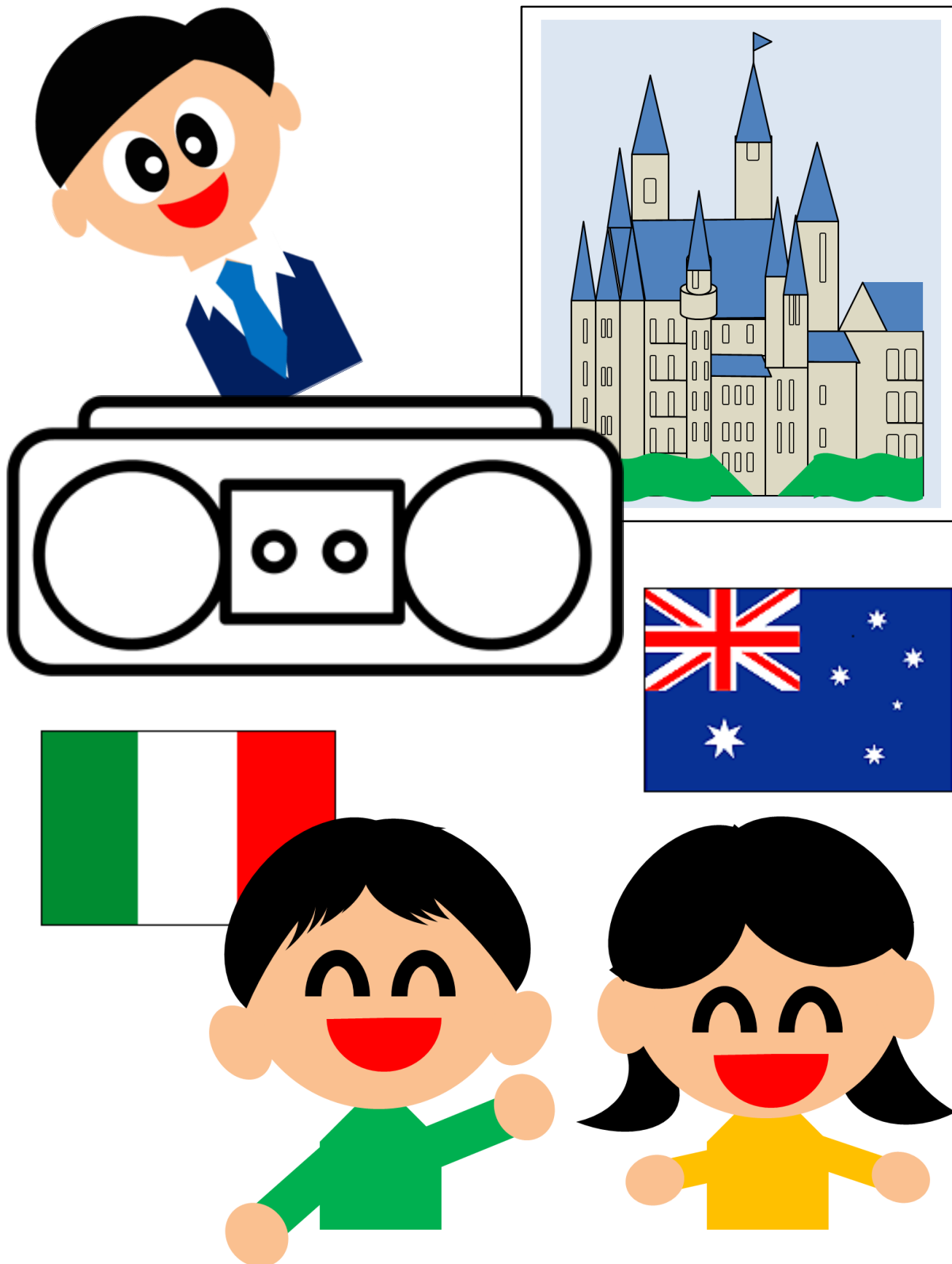
私たちの班の代表は〇〇さんです。

笑顔で話すところが良くて代表をお願いしました。



I can ride a unicycle.

英語ノート・2 Lesson6 「行ってみたい国を紹介しよう」
授業案例



○ 単元計画

1 単元名 英語ノート・2 Lesson6 「行ってみたい国を紹介しよう」

2 単元の目標

- (1) 世界にはいろいろな英語が話されていることに興味を持つ。
- (2) 自分の思いがはっきり伝わるようにスピーチをしたり、積極的に友だちのスピーチを聞いたりしようとする。
- (3) 理由を含めて、自分が行ってみたい国を発表する。

3 単元で扱う表現及び主な語彙

表現：I want to go to ～. Let's go.

語彙：Italy, Japan, China, Korea, Brazil など

4 単元の概要

時	本時の目標	本時の活動	指導事項		活動の種類 ◎主, ○副		
			1 コミュニケーション	2 言語や文化	聞く	言い慣れる	発話する
1	様々な英語があることを知る。	Let's Listen 1 4人の自己紹介からわかったことを聞こう。	(2)	(1)	◎		
		Let's Listen 2 どの国旗がどの国かあてよう。	(3)	(2)	◎		
		Let's Chant(一回目) ♪I want to go to Italy. ♪	(2)	(1)	◎	○	
2	行きたい国やその理由についてのまとめた話を聞いて、その概要を理解する。	Let's Chant(二回目) ♪I want to go to Italy. ♪	(2)	(1)	○	◎	
		Let's Listen 1 CDを聞いてカードを順に並べよう。	(2)	(2)	◎		
		Let's Play ビンゴ・ゲーム	(2)	(2)	◎	○	
		Let's Listen 2 CDを聞き、子どもたちが行きたい国と理由とを線で結ぼう。	(3)	(2)	◎		
3	行きたい国を尋ねたり、尋ねられたり答えたりする。	Let's Chant(三回目) ♪I want to go to Italy. ♪	(2)	(1)		◎	
		Let's Listen CDを聞いてわかったことを書こう。	(3)	(2)	◎		
		Activity1(準備) 自分が行ってみたい国について、国旗とその理由とをかいて紹介しよう。(準備)	(1)	(1)		◎	○
4	行きたい国をその理由とともに発表したり、相手の行きたい国やその理由とを理解したりする。	Let's Chant(四回目) ♪I want to go to Italy. ♪	(2)	(1)		◎	
		Activity1 自分が行ってみたい国について、国旗とその理由とを書いて紹介しよう。	(2)	(1)			◎
		Activity2 友だちのスピーチを聞いて、行きたい国を知ろう。	(1)	(2)	◎		
指導事項	<p>1 外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図ることができるよう、次の事項について指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験する。 (2) 積極的に外国語を聞いたり、話したりすること。 (3) 言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ること。 <p>2 日本と外国の言語や文化について、体験的に理解を深めることができるよう、次の事項について指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 外国語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付くこと。 (2) 日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知り、多様なものの見方や考え方があることに気付くこと。 (3) 異なる文化をもつ人々との交流などを体験し、文化等に対する理解を深めること。 						

学級担任の活動 と ALTの活動

活動のねらい

あいさつ, 本時の確認(3)

積極的にコミュニケーション
を図ろうとする態度の育成

言語や文化について体験的に
理解を深める

Let's Listen1(15)

担: 36ページを見ましょう。この人たちの名前は～です。

(p.36の四人の子どもたちの名前を紹介する。)旗を見
ましょう。どこの国の旗かわかりますか?それではCD
を聞いてわかったことを英語ノートに書きましょう。

担: (CDを聞いたのち)何が好きですか?何ができますか?

担: 話の内容以外で気が付いたことはありませんか? (児童
の国による表現の違いへの気付きを引き出し, ALTに)
どの人の英語が正しいんですか?

A: (現在世界には様々な英語があり発音も多様。どれが正
解とかはなくなりつつあるということを見童向けに話す)

微細な発音や
表現の違いを
許容する態度
を育てる。

同じ英語でも
表現や発音が
異なることに
気付かせる。

Let's Listen2(10)

担: Open your textbook to page 37. (ALTの母国の国旗を
示し, ALTに母国の国旗の説明を促す)

A: (母国の国旗の由来や国旗への思いを語る ※あまり政治
的・思想的な話に深入りしないよう留意する。)

A: ところで日本の旗にはどのような意味があるんですか?

担: (児童とともに考える。)

日本の国旗に
関心を持ち,
由来等を伝え
ようとする態
度を育てる。

国旗が大切に
誇りあるもの
であることに
気付かせる。

外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ

Let's Chant(10)

担: チャンツを聞いてみましょう。

担: (児童の Italy への反応を受け, ALTに質問する)

A: (日本語と英語で呼称の異なる国を紹介する)

担: じゃあ今日は I want to go to Italy.のところをチャンツ
しましょう。

A: (他の日本語と英語で呼称の異なる国を紹介する)

共に声を揃
え, 楽しくチ
ャンツを言お
うとする態度
を育てる。

国の呼称は,
言語によって
異なることに
気付かせる。

ふりかえり, あいさつ(7)

担: (本時の活動について, 児童が気付いた言葉や文化に関
すること, 望ましいコミュニケーションを図ろうとする
態度を具体的に評価する。)

A: (担任と事前に打ち合わせておいた点について評価する)

担: ふり返りカードに今日の感想を書いてください。

T・Tの利点を生かした活動の工夫・改善の例

Let's Listen1

(例) ALTに発音に対する考え方の違いを話してもらえそうな工夫をしました。

(四人の話の内容を聞き取ったのち)、四人の自己紹介で何か気が付いたことありましたか？



え～？
何かあったかなあ

では、名前を言うところだけ聞き比べてみよう。

(ガ-ナ) My name is ~

(韓)

I'm ~

(豪) My name is ~

(仏)

I'm ~

細かい発音はあまり気にしなくてもいいんだよ。それよりも、たくさん話しかけてくれた方が、僕はうれしいんだ！

そうなんだ～。
少し気持ちが
楽になったよ！



Let's Listen2

(例) ALTの存在を、児童が日本の国旗について考えるきっかけとなるようにしました。

Is this a flag of your country?



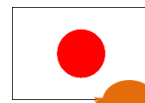
Yes! どうしてこのデザインか知ってる？

知らないです。
教えて！



横棒の数は…
この星の数は…

旗には国の歴史や思いが込められているのね！



ところで日本の旗はどうしてこのデザインなの？

あれ？今まで考えたこともなかったぞ！



Let's Chant

(例) ALT自らが経験した言葉の難しさや面白さを話してもらう機会を作りました。



I want to go to Italy.

イタリアじゃないの？



そうそう。僕も日本に来たばかりの時、通じなくて困った思い出があるよ。例えば…

国の呼び方は世界共通だと思っていました～



♪I want to go to Italy!

本当だね。
先生、英語ではイタリアと言わないですね。



じゃあ今日は I want to go to Italy のところをチャンツで言おう！



英語ノート・2 Lesson6 第2時	目標／行きたい国やその理由についてのまとまった話を聞いて、その概要を理解する。	
学級担任の活動	活動のねらい	
あいさつ, 本時の確認(3)	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成	言語や文化について体験的に理解を深める
Let's Chant(5) 1. Let's chant.	共に声を揃え、楽しくチャンツを言おうとする態度を育てる。	日本語とのリズムの違いに気付かせる。
Let's Listen1(5) 2. Open your textbook to page 75. 3. 絵カードを切り取りましょう。 4. CDから流れる言葉の順番にカードを並べましょう。	意味の予想を交流をとおして、協力する態度を育てる。	外来語と関連させながら、意味を推察させる。
Let's Play(10) 5. Let's play Bingo-game. Open your textbook to page 38. 6. 好きなカードを3枚並べてください。 7. CDを聞いて、出てきた言葉のカードを取り除きましょう。 8. 今度は先生のヒントに合ったカードを3枚並べてみましょう。 (ヒント)I want to go to Europe.等	意味の予想を交流をとおして、協力する態度を育てる。	カードの語と外国との関連に気付かせる。
Let's Listen2(10) 9. Open your textbook to page 39. 10. どの国の旗かわかりますか？(4人の子どもの名前と国旗の国名は確認し、どの児童も活動に参加できるようにする。) 11. CDを聞いて、子どもの顔と行きたい国の国旗、その理由を線で結びましょう。 12. (理由の無いスピーチと理由を添えたスピーチを聞かせ) どちらのスピーチが良いですか？	理由も加えスピーチしようとする態度を育てる。	理由を加えて発表する良さへ気付かせる。
まとめの活動(5) 13. I want to go to (Egypt). I want to (see pyramids). (児童に対し) Do you want to go to (Egypt)?	外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ	
ふりかえり, あいさつ(7) 14. (本時の活動について、児童が気付いた言葉や文化に関する事、望ましいコミュニケーションを図ろうとする態度を具体的に評価する。) 15. ふりかえりカードに今日の感想を書いてください。		

活動への工夫・改善の例

Let's Listen 1

(例) 新しい語彙は、考えながらじっくり聞かせるように工夫をしました。

出てきた言葉の順
にカードを並べよう。
koala,
kangaroo, ...



残ったカード

mountain



あ、聞いたことあるよ！



わー、かんたんかんたん



えー、なんて言うんだろ
う？知らないよー。



マウンテンバイクって言う
よね！

Let's Play

(例) 新しい語彙が多いので覚えるだけで精一杯の活動にならないような工夫をしました。

先生のヒントにあっ
たカードを3枚並べ
てね。相談しながら
やろう。



I want to go
to Europe.



I want to see
tower, mountain
and castle.



はい。



え？ヨーロッパ？



一つはエッ
フェル塔だ
よね。あと
は…



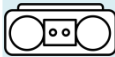
わーい、やっぱりそうだ！



Let's Listen 2

(例) 学習内容として設定された表現は英語による発話を求めますが、それ以外の部分は日本語を許容し児童の負担の軽減を図りました。

Hello,
I want to go to
Italy. Thank you.



理由もあったほう
が、わかりやすい
です。



もちろん理由は日本語で
もいいよ。大事なことは聞
き手のことを考えて、ひと
工夫することだからね。



Hello,
I want to go to Italy.
I want to eat pizza.
Thank you.



そうだね～。みんなのス
ピーチにも理由を加えて
みない？




どちらのスピーチを
良いと思いましたか？



不安…

安心！



英語ノート・2 Lesson 6 第3時	目標／行きたい国を尋ねたり，尋ねられて答えたりする。	
学級担任の活動	活動のねらい	
あいさつ，本時の確認など(3)	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成	言語や文化について体験的に理解を深める
Let's Chant(5) 1. 今日は先生の行きたい国とその理由でチャンツをしましょう。先生はイタリアに行ってスパゲティを食べて，ナポリの夜景を見たいです。 2. Let's Chant..	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 目的（他者の行きたい国とその理由を聞く）をもち聞く態度を育てる。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 日本語とのリズムの違いに気付かせる。 </div>
Let's Listen(10) 3. Open your textbook to page 40. 4. 3人のスピーチを聞いてわかったことをふき出しに書きましょう。 5. 「相手の話は黙って聞く」という聞き方は，国によっては「失礼」と思われることもあります。ではどのような聞き方が良いか先生がやってみます。 (CDの音声に対しコメントや質問を述べる。) 6. 相手の話に対するコメントや質問は，あなたの話をちゃんと聞いていますということを伝える働きがあります。 7. それでは，先生のスピーチにコメントや質問をしてみましょう。 Hello. I want to go to (Egypt). I want to (see) (camels). Thank you.	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 相手の話コメントしようとする態度を育てる。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 「よい聞き方」が，文化により異なることに気付かせる。 </div>
Activity1 準備(25) 8. Open your textbook to page 41. 9. 次の時間は，みんなの行きたい国とその理由を発表しますから，これからその準備をしましょう。 10. 準備ができた人から，先生に行きたい国とその理由を聞かせに来てください。 11. 先生へ話し終えたみなさんは，友だちの行きたい国と理由を聞いてコメントや質問をするのに挑戦してみましょう。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 話をしっかり聞き的確なコメントを返してみようとする態度を育てる。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 自分の話コメントが得られる喜びに気付かせる。 </div>
ふりかえり，あいさつ(7) 12. （本時の活動について，児童が気付いた言葉や文化に関する事，望ましいコミュニケーションを図ろうとする態度を具体的に評価する。） 13. ふり返りカードに今日の感想を書いてください。	外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ 	

活動への工夫・改善の例

Let's Chant.

(例) チャンツの素材を変えながら、楽しく行えるように工夫しました。

先生の行きたい国とその理由でチャンツしましょう。先生はイタリアに行ってスパゲティを食べて、ナポリの夜景を見たいんだ。

はい。

夜景ってどう言うの？

♪ Chant
I want to eat spaghetti!

♪ I want to eat spaghetti!

♪ ヤケイガ ミタイ デス！

リズムに合わないね～

理由は日本語でもいいのね

Let's Listen

(例) 難度が高い活動ですが、児童の意欲を損なわないように、導入に工夫をしました。

I want to go to Korea.
I want to eat *kimuchi*.

Korea!

Kimuchi!

※エコーイングで聞き取り支援

日本のように「相手の話は黙って聞く」という聞き方は、国によっては「失礼」と思われることもあります。

へえ～そうなんだ

I want to eat *kimuchi*.

ゆみさんは辛い食べ物が好きなんですね！（コメントの実演）

まずは挑戦して、どれくらい難しいかを体験してみようよ。

それならできそう！

Activity 準備

(例) より多くの友だちと伝え合うことができるような工夫をしました。

準備ができた人から、先生に行きたい国とその理由を聞かせに来てください。

I want to go to China.
I want to see 万里の長城.

万里の長城！先生も一度行ってみたいな！

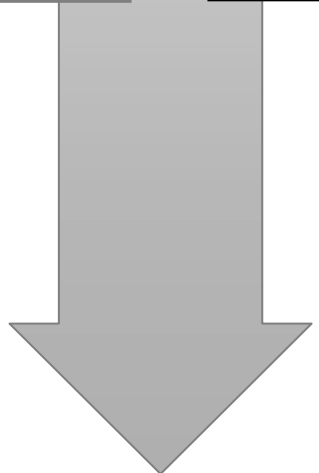
ではあなたも友だちの行きたい国と理由を聞いてコメントを出すのに挑戦してみましょう。

はい。

行きたい国と理由を聞かせて！

I want to go to China.

あ、私と同じだね！

英語ノート・2 Lesson6 第4時	目標／行きたい国をその理由とともに発表したり，相手の行きたい国やその理由を理解したりする。	
学級担任の活動	活動のねらい	
あいさつ，本時の確認(3)	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成	言語や文化について体験的に理解を深める
Let's Chant(5) 1. Let's chant. 2. 今日は〇〇さんの行きたい国とその理由でチャンツをしてみましょう。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 他者の行きたい国とその理由に関心を持たせる。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 日本語とのリズムの違いに気付かせる。 </div>
Activity1(10) 3. では，先生がスピーチをしてみます。 (例) Hello, everyone. I want to go to Italy. I want to eat pizza. Thank you. 4. 先生のスピーチはどうでしたか？ (声の大きさ，表情 等を意識化させる) 5. それでは，みなさんも班の発表会の時に今出たことを視点にして，お互いを評価し合みましょう。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 相手のことを考えスピーチしようとする態度を育てる。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 相手のことを考えた話し方，態度に気付かせる。 </div>
Activity2準備(20) 6. それでは，順番に，行きたい国と理由を発表していきます。全員の発表が終わったら，自分の同じ国に行きたい人の人数を書く活動がありますから，しっかり聞きましょう。 7. (全員の発表が終わったら)自分の行きたい国と同じだった人は何人いましたか？英語ノートp. 41に書きましょう。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 目的をもってスピーチを聞こうとする態度を育てる。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 自分と友だちの相違に受容的に気付かせる。 </div>
ふりかえり，あいさつ(7) 8. (本時の活動について，児童が気付いた言葉や文化に関すること，望ましいコミュニケーションを図ろうとする態度を具体的に評価する。) 9. ふり返しカードに今日の感想を書いてください。	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small; margin-right: 10px;">外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ</div>  </div>	

活動への工夫・改善の例

Let's Chant.

(例) 四回目のチャンツですが、飽きさせずに行えるように、素材に工夫をしました。

〇〇さんが、校長先生の
行きたい国とその理由を
聞いてきてくれました。今
日は、それを使ってチャン
ツしましょう。

♪ Chant
I want to go to
France!

♪ Chant
モナリザ
ミタインデス!

♪ I want to go to
France!

リズムに合わ
ないね～

はい。どこに行き
たいのかな

理由は日本語
でもいいのね

Activity 1

(例) チャンツで慣れ親しんだ表現を発話にも有効に生かせるように、「指導資料」に示されたスピーチの話型に工夫をしてみました。

先生スピーチしてみます。
Look at this.
I want to go to Italy.
I want to eat pizza.
Thank you.
先生のスピーチどうですか？

もっと笑顔で！

英語ノートの見せ
方がうまいです。
真似したい。

(児童のアドバイスを取り入れ
再スピーチし、)本当だ、みんな
の言うとおりにしたら、良くな
ったね。ありがとう。
それでは、班での発表会の時
も、今のことを視点にしてお互
いの発表を評価し合ってくだ
さいね。

そんなに大
きな声でなく
ても聞こえる
と思う…。

僕たちの顔
を見て話して
いて良い。

Activity 2

(例) 英語だけが相互評価の観点で英語だけにならないよう、発表のさせ方に工夫をしました。

(班での発表会に続き)
全体発表に入ります。
終わったら、自分と同じ
国に行きたい人の人数
を書く活動がありますか
らね。

●さんは、何も見ないでスピーチしようと
がんばっていました。△さんは…(班長が
班員のよいところを説明してからスピーチ
を始める。)

それでは英語ノートに、自
分と同じ国に行きたい人の
人数を書いてみましょう。

※次の活動を予告することにより、
聞く目的を持たせる。

私とあなた、行きたい
国、同じだったね。

はい。

はい。

エジプトに行きたい人、○
くんだけだね。すごいね。

クラスルーム・イングリッシュ自己目標の設定と自己研修の記録

1 クラスルーム・イングリッシュ自己目標の設定

過去の実践により「あいさつ・授業の開始に用いる表現」はできるようになっていることから、今年度は「ガイドブック」に示されたクラスルーム・イングリッシュの「ほめる表現・励ます表現」を中心に英語運用能力の向上を図った。

2 クラスルーム・イングリッシュの選定の留意点

以下に示す三点に留意し、クラスルーム・イングリッシュの選定を行った。

- ・ 目標に設定するクラスルーム・イングリッシュは、児童を見とりながら用いる余裕が必要なことから、その数は五つ程度とすること。
- ・ 児童が、クラスルーム・イングリッシュの意味を視覚からも理解できるように、ジェスチャーも交えた使用が可能な表現とすること。
- ・ 目標として設定したクラスルーム・イングリッシュが、実際の授業場面で咄嗟に口にすることができないときは、目標とするクラスルーム・イングリッシュを簡単なものに変更する等、適宜調整を図ること。

3 ポートフォリオに用いた「自己評価表」の様式

ポートフォリオとしてファイリングした「自己評価表」の様式を以下に示す。

外国語活動	
「自己評価表」	
◆授業日：平成 年 月 日（ ）	
◆指導単元：英語ノート・ Lesson の 時間目	
◆今回の計画	
使おうとする英語表現	使用場面
◆授業を振り返って（次回への抱負）	

3 ポートフォリオの実際

The image displays 15 self-evaluation forms for English activities, arranged in a grid-like fashion. Each form includes a date, a lesson plan, and a table with English phrases and their usage scenarios. The forms are dated from July to November 2019.

Form 1 (Top Left): 平成 21 年 7 月 7 日 (火). 指導単元: 外国語活動. 授業日: 平成 21 年 7 月 10 日 (金).

Form 2 (Top Right): 平成 21 年 8 月 24 日 (月). 授業日: 平成 21 年 8 月 28 日 (金).

Form 3 (Middle Left): 平成 21 年 7 月 14 日 (火). 授業日: 平成 21 年 7 月 17 日 (金). 指導単元: 英語ノート・2 Lesson 4 の四時間目.

Form 4 (Middle Right): 平成 21 年 9 月 4 日 (金). 授業日: 平成 21 年 9 月 8 日 (火). 指導単元: 英語ノート・1 Lesson 5 の四時間目.

Form 5 (Bottom Left): 平成 21 年 9 月 15 日 (火). 授業日: 平成 21 年 9 月 29 日 (火). 指導単元: 外国語活動.

Form 6 (Bottom Right): 平成 21 年 10 月 23 日 (金). 授業日: 平成 21 年 11 月 6 日 (金).

Form 7 (Bottom Center): 平成 21 年 10 月 13 日 (火). 指導単元: 英語ノート・2 Lesson 6 の四時間目.

Form 8 (Bottom Far Right): 平成 21 年 11 月 17 日 (火). 授業日: 平成 21 年 11 月 20 日 (金). 指導単元: 英語ノート・1 Lesson 6 の四時間目.

Each form contains a table with the following structure:

使おうとする英語表現	使用場面
That's good!	児童ががんばって言葉を発したとき
Keep it up!	その調子!
You can do it!	君ならできるよ
It's OK to make mistakes.	間違えても大丈夫ですよ
Good job!	児童をほめるとき

Additional notes and reflections are present at the bottom of each form, such as: "児童のスピーチに対して、もっと誉める表現を使いたかった。全員がスピーチする時間の割に、用意したクラスルーム・イングリッシュのバリエーションが足りなかった。"

4 今年度のクラスルーム・イングリッシュ自己研修の成果と課題

成果 簡単なほめる表現を、児童の目を見ながら、ジェスチャーも交え使用することができた。

課題 次年度は、ほめる表現・励ます表現を増やす以外に、ゲームや活動時に用いる表現も少しずつ増やしていきたい。